

高浜地区タウンミーティング(要約)

平成26年5月31日(土曜日)

【市長】 皆様こんにちは。今日は大勢の方にご参加いただきまして、ありがとうございます。土曜日の午後ですから、いろいろとご予定があったのではないかと思いますけれども、このようにご参加いただきましてありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては高浜地区町内会連合会の会長をはじめ、役員の皆様のご協力をいただきました。ありがとうございます。さて、今回の高浜のタウンミーティングですけれども2回目となります。前は平成24年の8月でしたから1年9カ月ぶりになります。このタウンミーティングですけれども、どっちが楽かという話をする、我々が市役所で待っていて、皆さんが来られるのを待っていたほうが楽です。でも、はたしてそれでいいのだろうか。松山市は旧の北条市、旧の中島町を合わせて41地区に分かれます。その地区ごとに課題もあってお困りの点もあって、逆に魅力もあると思います。我々から出向いていってお困りの点とか課題とか魅力について聞かせていただく。そして、できることからできるだけ早く対応していくことが必要と思っております。私が就任させていただいて以来、このタウンミーティングを重ねております。皆さんからいただいたご意見や質問に対して、できるだけここでお答えをして帰りますが、中には国と絡む案件、県と絡む案件、財政的な問題があるものはいいかげんな答えをして帰るわけにはいけませんので、いったん持ち帰らせていただいて1カ月を目途に必ず答えをお返しする、やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないのが松山市版のタウンミーティングの特徴です。いわゆるガス抜きとかパフォーマンスのためにやっているのだとしたら、タウンミーティングは1巡で終わっていたと思うんですけれども、全部の地区を回って2巡目に入っているところでございます。今日はご覧のようにお子さんたちも来られておりますので、90分という長い時間で緊張されていると疲れてしまいますので、あまり肩ひじ張らないように、ざっくばらんな意見交換ができれば、将来の高浜に向けて前向きな話し合い、意見交換ができればと思いますので、今日はどうぞよろしく願いいたします。

【男性】 皆さんこんにちは。本日は、市長さんならびに関係部署の方々にお礼を申し上げたいということで参加をさせていただきました。皆さんお持ちになっておられます資料の5ページの14番の件でございます。この件につきまして、前回、平成24年度に行われましたタウンミーティングのときに市長はじめ関係部署の方々に実情をお話しました。その結果、

ここに記載されておりますように現在、着工をしていただいております。6月末に完成でございますが、この件につきまして都市整備部道路建設課の方々と複数回にわたり、かなり時間も経過をしたわけでございますけれども、非常にこの部署の方々は親切で丁寧です。担当をしていただいております方は非常に前向きで積極的で、地域の状況をきちんとご理解をしていただいて、早く何とかしなければならぬという熱意のあるお言葉、行動をしていただいた。本当に職員の方々も褒めてあげたい。また、この工事が非常に厄介な工事です。池を4分の1ぐらい埋め立てまして、そこに道路をつくる工事をしていただきました。もう非常に厄介なんです。池ですから水が出てくる。水路の変更をしなければいけない。それから老朽化した橋も撤去して新しく作りかえないといけないとか、また水道の配管が出てくるとか、かなりのご苦勞をされておられますけれども、高度な技術力で、1つ1つ解決をしていただいている。なぜこういうことを申しますかということ、私の家の玄関を開けたら目の前が工事現場なんです。だから毎日私が検査官みたいなもので、いろいろと気がついたことを工事の現場の方々に意見を申し上げさせていただいておるということでございます。最後になりますけれども、実はこの道路は一般生活道路でございます、地域の方々だけが使用するわけじゃないんです。いろいろな業種の方、いろいろな方がこの道を通ります。従来は道幅が狭いので、上り坂、下り坂とカーブがあるということで、非常に敬遠されてきたんですが、こうして立派な道ができることになり地域の方は本当に喜んでおられます。今まで何十年も危険な目にあってきたけれども、これで安心できると本当に喜んでおられます。同時にこの周辺には空き家になっている家が数件あるんですが、今回この道路ができるということで、Uターン現象が発生してきたんです。空き家にしておくのはもったいないということで、町なかに住んでおられる息子さんご一家が近々帰って来られると、ほかにも数件そういうことが発生しておりますので、このこともあわせてご報告をさせていただきます。本当に市長さんはじめ関係部の方々ありがとうございました。

【市長】 えらく褒めていただいて、逆に汗が出ております。我々は仕事としてやらなければなりませんので、冒頭で申し上げたとおり皆さんの声に誠実に耳を傾けて、誠実に取り組んでいくことが、我々のしなければいけないことだと思いますので、できることから、できるだけ早くやりたいと思っていますので、今日のタウンミーティングでも遠慮なく言っていたらと思います。ありがとうございました。

【小学生】 高浜小学校に通っています。前にあった梅津寺パークを復活させたいと思います。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。ご質問ありがとうございます。梅津寺パークは、皆さんご存じだと思いますけど伊予鉄道がやっていました。伊予鉄道も経営がなかなか難しいということで、やめられたと私は思っているんですけど、子どもさんたちの遊びや憩いが提供できる場所として、遊園地があればいいなと皆さん思っていると思います。そして、にぎわいもできるんじゃないかなと思います。ただ、松山市がつくるとなれば、施設の建設費や維持費も結構いるわけです。先ほど水族館の話もありましたけど、継続的にやっていくのはなかなか難しいかと今は思っています。小学生のお子さんは知らないかもしれませんが、松山市では「坂の上の雲のまちづくり」をやっています。その中で、梅津寺も三津浜地区とあわせて「三津浜・梅津寺サブセンターゾーン」を設定しております。今、三津でいろいろにぎわいとかをやっていると思うんですけど、梅津寺も一緒にサブセンターゾーンとして位置づけていますので、地域の皆さんと一緒に、このサブセンターゾーンの活性化を目指してやっていきたいと思って位置づけておりますので、今後も皆さんと協力しながらやっていきたいと思っています。よろしく申し上げます。

【男性】 5月18日の高浜大運動会には市長も参加いただいて、ごあいさつをいただきました。その中で、人と人とのつながり、結びつき、連携をというあいさつがあって、私も同感でしたのでうれしく思いました。ありがとうございます。そこで、この松山市を活性化させていく上で、公園利用のことについて1つ提案をしたいと思っています。公園の入り口には、松山市と公園管理協力会が連名の立て看板が立っております。これは、どこの公園も立っているんですが、その中に4つの規定がありまして、危険な遊びはしないよという当然のことが3つあって、3番目の規定の中に野球、サッカーなどをしないよという規則の一文があるわけがございます。このために成長期の小学生や中学生ができないためにどれだけ苦しんで、悩んでおるかをこの管理協力会の方々はご存じだろうかという点です。日本一の松山市をつくるというなら、こういう文面が入った公園管理じゃなくて、これができるような、1番大事な成長期に俊敏性を養うサッカーとか野球ができないようなことでは、これは大変なことだと思うんです。私は経験上、小学校6年生ぐらいから中学生にかけて、集落の遊び場や公園で野球やサッカーや相撲や色んなことをやった中で、運動神経ができていったわけです。この一文を取り消したいわけです。こういう文面を入れたのは、野球などをやって近所の家を割ったり、屋根に当たって屋根を壊したりして苦情があるために、これが入っているんだと思うんですが、対策として、ネットを張って当たらないようにすればいいわ

けです。その予算ぐらい、松山市はできないわけじゃないですよ。市長を中心にプロジェクトをつくって、定年をした人がドッチボールや野球の管理監督官として各公園にずっとおれば、月曜日にはドッチボール、火曜日にはグラウンドゴルフ、水曜日には野球という形で日ごとにしていけば、その地域はますます盛り上がってくると思うんです。そういうことを検討し実施して、日本一の松山にさせていただくように市長が中心になってやっていただきたいということが私の提言、希望でございます。

【市長】 はい、わかりました。私からお答えいたします。今、おっしゃられたように、ボール遊びができる公園を松山市は増やしているところです。高浜地区に12カ所の公園があるようですけれども、具体的にボール遊びをしたい公園の名前を教えていただいたら、これは、みんながばらばらに言われるよりは、できたら答えを集約していただけるとありがたいんですが、ここでボール遊びをしたいと決めていただきましたら、公園は公園管理協力会に管理をやってもらっていますが、地域の方にもその旨をお伝えしてご意見をお聞きするなど、可能性について検討していきたいと思えます。7月ぐらいから始まりますブロック研修会がありますけれども、公園管理協力会の会長に協力の依頼をしたいと思えますので、皆さんからここでやりたいですというご希望を聞かせていただけたらと思えます。平成18年度からボール遊びができる公園づくりを進めていまして、今、8カ所できました。松山市としてもボール遊びができる公園を増やしていきたいと思えますので、また皆さんのご協力のほどよろしくお願いいたします。

【小学生】 私は、高浜小学校6年です。さっきの公園の話について、友達と一緒にサッカーや野球をしている人はたくさんいるんですけど、公園内でできないのが、ちょっと嫌という子が何人かいたので、私的には、すみれ野にある「すみれ野北公園」にサッカーができるような場所をつくってほしいと思えます。

【市長】 広さはありそう？サッカーができそうな広さ。

【小学生】 広さは結構あります。

【市長】 わかりました。ボール遊びがしたいのは、小学生であったり中学生も入るかもしれませんが、小学校とも相談して、どこでしたいんですというのを集約する流れでいったらいいですかね。

【男性】 3,700㎡です。

【市長】 3,700㎡というと、単純計算すると60メートル×60メートルで3,600㎡ですね。かなり大きいですね。わかりました。私もボール遊びができる公園を増やしていきたいと思えます。必ずルールとマ

ナーを守ってということになっていきます。松山市役所では「市長へのわがまちメール」という、市長に直接メールが届く制度がありまして、皆さんもご意見があったら遠慮なくご利用いただけたらと思うんですが、公園のそばに住んでいる女の子からメールがあったことがあるんです。「私は、公園のすぐそばに住んでいます。男の子たちがボール遊びをするんです。うちの家すぐにボールが入ってくるんです。それがまず困ったなと思うし、勝手に家の中に入ってきて、庭からそのボールを取って帰るんです。それが嫌なんです。何とかしてください」という声があったんです。市役所の仕事は、色んな人の声を集めて行っていく仕事になるので、そういうこともあってボール遊びが制限されているところがある。例えば、小さいお子さんが遊びに行ったところで、バット振っていたら危ないと感じる。サッカーボールを蹴って強いボールがいくと危ないという人の声もあって、ボール遊びができない公園ができていくわけです。それが大半だろうと思うんですけど、ちゃんとルールとマナーを守って、ご近所の方の声も生かしながらやれば、ボール遊びができる公園はできる形になりますので、そういう流れだということを、わかっておいてもらったらと思います。

【男性】 すみれ野自治会です。よろしくお願いいたします。まずは、先ほども市長さんからご報告がありましたが、通学路の変更とか、児童遊園を公園にさせていただくというお願いを、前回のタウンミーティング後に即行動していただきまして、大変ありがとうございました。お知らせとお願ひがあるんですが、すみれ野の自治会が今年で30周年を迎えまして、今年の10月26日に北公園でかなり大がかりなイベントを検討しております。市長さんにもご来賓で来ていただけたらと思います。また、ご案内は追ってさせていただきたいと思います。

【市長】 はい、体さえあいていたら行けますので。

【男性】 お願ひは高浜トンネルを抜けて、下って行って左に太山寺へ上がっていく県道があると思うんですが、その県道の西側に用水路がありまして、道路があつて歩道があつて用水路があつてという形で、のり面に住宅の壁がある状態ですが、そのあたりの雑草がかなりひどくて、住宅と面している方がここはいったい誰が管理しているのかと、その道路を管理しているところなのか、用水を管理しているところなのか、それとも用水と住宅の境目とかにも結構生えているんで、住宅の所有者がしないといけないうのかということ、暖かくなって草木も伸び始めたので、そういった苦情が直接耳に入ってきておりますので、管理はどこにお願ひしたらいいのかを教えていただけたらと思います。

【市長】 まず、行事のことについては、ご遠慮なく市役所に言っていた

だけたら、私は地域に出て皆さんのところに行かせていただくのが大好きですから、体さえあいていたら、行かせていただいたらと思います。

【都市政策課長】 都市政策課川口でございます。場所が詳しくわかりませんので、住宅地図を用意しておりますので、また教えていただきましたらご返答したいと思います。お願いします。

【市長】 今日は3時半までですけど、終わったらすぐに帰るわけではないので、例えば危険とを感じる場所があるとか、この辺はどうだったのかなということがあったら、担当が来ておりますので遠慮なく言っていただいたらと思います。

【男性】 先ほどからグラウンドの件でいろいろとお話が出ておりますが、高浜観光港に緑地グラウンドがあるんですが、あそこをもっと有効に活用したいと思うんですけど、できれば夜間照明をつけていただけると、もっと広く活用できるんじゃないかと思います。夜間照明をつけていただけると、今までほかに使っている方と調整しながら、昼間に子どもさんたちにも野球もサッカーもできますので、そのようにお願いしたいと思います。検討してください。お願いします。

【市長】 夜ができたらお子さんらにあそこでボール遊びもさせてあげられるんじゃないかなというお声をいただいて、こうやって地域で温かく見守ってくれている大人がいるのは、本当にいいことだなと感じました。ありがとうございます。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。ご提案ありがとうございます。お話をいただきました高浜緑地グラウンドは、平成9年に松山観光港の第2フェリー岸壁の建設にあわせて愛媛県が建設をしております。現在は松山市が管理を委託されております。実際には地元の方で管理運営をお願いしているグラウンドでございますけれども、本日お話がありましたことを松山市から県の担当にお伝えして、回答をいただきたいと思っております。ありがとうございました。

【市長】 これ、できたらいいですね。今、言っていただいたようにナイターがついて、「私らは夜で構わないですよ」と言ってくれる方は夜に回っていただいて、そしてうまく子どもたちと大人の方とすみ分けができるという形になると思いますので、我々は松山市ですけど、「松山市ですから県に言ってください」じゃなくて、我々からお伝えをさせていただきます。

【男性】 先ほど自治会長からもお礼のごあいさつがありましたけれども、私どもの提案に対しておそらく30パーセントぐらいかなえられたかなと思っております。ありがとうございました。それで、常日頃思っている

ことは、市長さんでなくても職員の方がそれなりに各地域を回っていただいて、もっと細かい話ができるようお願いできたらと思います。あまり職員の方は現地に出かけておられない、顔を見るのが非常に少ないと感じております。今ほども野球のキャッチボールのできる公園とか、いろいろお話が出ましたが、何件かできたところに私どももそういうお願いを周辺の同意を取ってお願いをした経緯がございます。それは担当課だと思います。ただなかなか実現、反応もないのが過去でございます。現在はそういう環境よりいくらかよくなっていると思いますので、数カ月に1回ぐらいは「ちょっとどんなですか」とのぞいていただいたほうが、より行政の効率化になると思います。それで、今日は公園の遊具の件ですが、これも長年にわたってお願いしておりますけれど、あとで書類を用意しておりますので、お願いしたいと思いますが、幼児・児童のすべり台の昇る階段ですけど、30年前に設置したすべり台ははしごの状態でございます。約、仰角75度で3カ所あるうち1カ所は4～5年前に直していただきました。これが仰角65度で階段と称する部類になりますが、それが言い続けてもなかなか直らないんです。改善されない。いつもひやひやして見ております。どうぞ早急に改善いただきますようお願いいたします。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。遊具の安全は最優先して取り組むことだと思っておりますので、詳しい内容をお知らせいただきましたら、すぐにでも対応したいと思います。ただ、公園に遊具をいろいろとつけてくださいというご提案をいろいろなところからいただいております。松山市は都市公園が300以上ございまして、すべての公園がすぐに新しい遊具をつくるということは、難しい状況でございますので、危険な遊具については今日、お聞きしましたので持ち帰らせていただいて、すぐに対応を指示したいと思います。ありがとうございます。

【市長】 私から市役所の中で職員に対して言っていることを披露させていただいたらと思うんですが、私はこういうタウンミーティングを重ねているように、とにかく現地現場第1主義なので、現地現場を大切にしてくださいと言っております。それと「広聴」と「広報」をより大切にしていきたいでしょう。「広聴」というのは広く聴くと書きますけど、このタウンミーティングもその1つで、皆さんの声にもっと耳を傾けていきましょう。それと「広報」、我々のやっている取り組みをもっと知ってもらいましょうということで、「広聴」と「広報」に今、力を入れているところです。どこの行政もそうじゃないかなと思うんですが、くせみみたいなものがありまして、私が就任させていただいてから3年半で感じるんですけど、皆

さん方が市役所に何か言うのはある意味非日常なことです。我々は仕事としてやっているの日常ですけれども、皆さんが365日、毎日市役所に来てお話をされるのはまずないと思います。ですから、皆さんが市役所に何か言われるのは非日常である。我々は日常の仕事であっても、皆さんからすると非日常なので、「あの件どうなったのかな」というのは言った瞬間から絶対気になるはずだと。だから途中の過程はあるけれども、決定してから言うのではなくて、途中の段階でもいいから、「今、こうなっています」と途中段階も言いましょうと市役所の中で言っているところです。言われたとおり、現場に出るのは非常に大切なことだと思いますので、これはこれからも徹底して言い続けていきたいと思います。松山市役所の職員数は、ただ減らせばいいというものではないので、計画を立てて計画に沿って減らしているところです。実は松山市と北条市と中島町が合併したときに3,699人いたんですけれども、平成25年の数字では3,277人まで削減をしてきました。旧の松山市単独の数字よりも、まだ減らした数になっています。これは皆さんの税金をいただいて我々は仕事をさせていただいているので、行政のコストダウンというところで、今、職員数を削減しているところです。ただ減らせばいいというものではないので、計画を立てて外部に委託をするなどしながら減らしているわけですけれども、現地現場を大切にすること、仕事量、また人数のこともしっかりと考えながら職員を配置していきたいと思います。ご意見ありがとうございました。

【男性】 私、東梅津寺地区の分館長をしております。東梅津寺地区は約住宅100戸で、団地が始まってから約50年ぐらい経っております。それで町内に緑地が4カ所ございまして、当初から東梅津寺町民で管理をしております。ほかの町も一緒だと思うんですけど高齢化が進みまして、今でも草地の管理はしているんですけど、1カ所、幅20メートルにわたって約45度の斜面が4メートルぐらいありまして、その下に垂直に水路の高さが2メートルぐらいございまして、年をとった方が草刈りをするには難しい状態になっております。それで、できますならば松山市で墜落防止の柵を設置していただければ、あとの草地の管理は我々町民がやりたいと思いますので、どうかよろしくお願ひしたいと思います。これにつきましては、高浜地区タウンミーティング参加申込書にも書いておりますので、ある程度は担当者がわかっておるかと考えております。よろしくお願ひいたします。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございました。その件は事前にお話をお伺ひしてございまして、担当課が5月19日に現場を確

認して、実施する方向で今手配をしておりますので、もうしばらくお待ちいただければと思います。ありがとうございます。

【男性】 高浜自主防災連合会です。2つほどあります。避難路の整備と表示板。まずは避難路について、高浜は16地区あるんですけど、各町内で一時避難場所を決めておりますが、道路が狭かったり、横が水路、急な坂道とか急な階段という場所が結構ありますので、高齢者の方には非常に困難な状況の場所が大変多くあります。それで、こういう場所に転落防止用の手すりとか滑り止めの処置などを整備できたらいいなと考えておりますので、もう1回自主防災連合会でも、場所がかなり多いので的を絞ってまた申請したいと思いますので、検討してもらったらと思います。それともう1つは表示板のことですが、今は標高板がついていますが、避難路の道順の表示板を標高表示板と同じように作成してもらえるのでしょうか。それと避難を終了した家ごとに避難済という表示板の作成もしてもらえるのでしょうか。その辺を検討してくださったらと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢でございます。防災に関するご質問どうもありがとうございました。3ついただいたと思います。まず、避難路の手すりでございます。高浜地区の自主防災組織の皆さんは、訓練を通して常日頃から色んな避難経路とか避難場所を決めていただいて、その訓練で皆さんは避難していただくことをやっていただいておりますので、そのあたりの経路も先ほどご質問の中でまとめてということなので、今日は地図も持ってきておりますので、後ほど地図で場所をお伺いして帰りますけれども、できましたらまとめていただければ、私どもで検討させていただきます。それともう1点目が道順の表示です。高浜地区は標高表示板を松山市でまず初めにやっていただいた自主防災組織でございます。今、標高表示は松山市と協働で町内の90カ所に設置させていただいております。避難路の順路につきましても危機管理担当部で、自主防災組織の皆さんと一緒に検討させていただいたらと思いますので、よろしく願いいたします。最後の避難済表示でございますけれども、今やっている松山市の自主防災組織はございませんけれども、ぜひ高浜地区がまず松山市の自主防災組織の先駆けとして避難済表示を活性化モデル事業に提案していただいたらと思います。どうもありがとうございました。

【市長】 今日はせっかく高浜のお子さんたちが来てくれているので説明すると、松山市内41地区の全部に自主防災組織ができています。結成率100パーセント。いろいろ皆さんが各地区で頑張って活動してくれているんですが、中でも高浜地区の自主防災組織の方はよく活動してくだ

さっています。本当に心から感謝申し上げます。標高表示板は見たことあるかな？「ここは何メートルです」という表示板ですけれども、自主防災組織の方々の力を借りて一緒につけています。泳いでいるときに足がつかないと不安でしょ。どこまで深さがあるのか。でも、足がついた途端にすごく安心するでしょ。津波もそれと同じで、私も去年の夏に知識と意識を高めて松山市の防災により反映させていきたいという思いで防災士の資格をとらせていただいたんですけども、東日本大震災があつて津波の映像を見て、いろいろ思われることもあったし怖かっただろうし、また、地震の揺れの映像を見られたと思います。防災士の資格を取らせていただいて改めて思ったんですけど、正しく恐れてしっかり備えるのが大事です。あの映像を見られたので、東日本の東北と同じようにすぐ津波がくるんじゃないかと思われるかもしれないですけども、今の想定では南海トラフの巨大地震が起こった場合は、松山では115分後に津波が到達すると言われていています。つまり2時間あります。たちまち来るわけではない。津波は海の深さと関連性がありますので、瀬戸内海と太平洋の深さは違いますから、全く東日本大震災と同じ状況ではないので、正しく恐れてしっかりと備えていただくことが大事かと思います。私が最近よく言っているのが、1週間分の備蓄をお願いしますと言っております。国でも3日分から1週間分に切りかわったんですけども、どうしても大きな災害が起こった際には、避難場所に皆さん来ていただき物資を公平性の観点から並んでいただかなければならなくなります。品物を並ばないと手に入れないことになりますから、皆様方、家で1週間分の備蓄をしていただいたら並ばなくても手に入る。また、好きなものが手に入ることになりますので、ぜひとも皆様方には1週間分の備蓄をお願いできたらと思います。防災マップは今年度中にまた新しいものを全戸配布しますけれども、今、皆さんの家にある防災マップの1ページには、75パーセントと19パーセントと書いてあります。およそ8割は何らかの災害に遭遇すると思っているんですけども、家具を固定している人は20パーセントに満たない数字なんです。8割の人が何らかの災害に遭遇すると思っているんですけども、2割の人しか家具の固定はしていないというアンケート結果です。防災士の資格を取ったときに思いましたけども、たんすは色んなものが詰まっていて重いんです。ものすごい揺れで皆さんの体に当たると大変なけがをしますし、倒れてしまうと避難するときの道をふさぐことにもなりますので、できる限り家具の固定をよろしく願いいたします。

【小学生】 高浜小学校に通っている6年です。私たち高浜小学校の2～3年生が町探検で高浜のいいところについて探している活動があつて、と

でもたくさんいいところがあるので、もっと松山市の方々にいいところを知ってもらいたいので、梅津寺海岸で海水浴ができるように中学校の人とも一緒になって掃除をしているので、海水浴ができるような設備をもっと充実してもらえたらいいなと思います。

【市長】 はい、わかりました。私の記憶では梅津寺のあそこは伊予鉄道さんが管理をされていて、サメよけネットも設置されていたんだけど、もう伊予鉄道さんは引かれた形になっています。私たちの子どもころは海岸で愛媛新聞さんの水泳教室がありまして、私も通っていたんです。鶴田さんという平泳ぎでオリンピックに出られた松山市出身の方がいらっしやって、その方が校長先生になって水泳教室をやっていた。僕らが子どもころはあそこで水泳教室が行われるぐらい使われていた場所です。でも、色んなことが重なって、今は使われない状態になっている。私としては、梅津寺の海岸はものすごくいい場所だと思っています。何がいいところかという、公共交通機関の電停がすぐそばにある。きれいな砂浜がある。夕日が見られる。飛行機の離発着も見られる。あれがごつごつした石の海岸だったら違うけど、私の思いとしては、以前はアサリ採りがものすごく人気だったことがあって、できたら皆さんと一緒にやりたいと思っているんですけど、アサリ採りって家族の思い出になるんですよ。今、松山の近くではあまりできなくなっているんで、そういうアサリを採ることができないかなとか、確かに民間がやられていてできなくなったので収支が合わなくなったと思うんです。だから、これは公がやるのはなかなか難しいことだと思います。だから公がやるのか、民間がやるのか、それとも公と民間が協力してやるのか。大人の方はお酒を飲むのが好きだったりするでしょ。でも、あそこは電車で来ることができるからお酒を飲んでも運転しないで帰れる場所ですよ。そういうメリットもあるので、梅津寺海岸はすごく可能性があるところじゃないかなと思っています。今、市役所の中でも私が言っているものですから検討しているんですけど、いい場所なんだというのは常に持ち続けて、じゃあどうしたらいいのかは考え続けていきたいと思っています。

【男性】 昨年11月に観光庁から大きな商談会がありまして、京都・広島・松山が新ゴールデンルートになったことを聞いたのですが、これは高浜地区だけではない松山市全体の問題かもしれないんですが、一応高浜が玄関になりますので、今のままでは外国からたくさんの方が来られても戸惑うのではないかなと心配しています。ですから、高浜観光港周辺にもっと何か外国人向けの施設・設備をきちんと完備する必要があるんじゃないかなと思っています。それと、実際にボランティアというか誰かが直接対応

をしたり、また、外国語が入っている掲示板ももっと整備しないといけな
いだろうと思います。私も以前ボランティアをしたいと思って「広報まつや
ま」に応募して受けにいったら、ちょっとレベルが高すぎて断念したこと
があるんですが、誰でもできる簡単な講習みたいなものがあると、地域
の方がボランティアとして参加できるんじゃないかなと思います。それと、
子どもさんが言っていました梅津寺も外国の方が来たらきっと喜んで泳
いで帰ると思うので、そういう高浜地区で楽しめる場所をきちんと整備し
てほしいと思っています。

【都市ブランド戦略課長】 都市ブランド戦略課でございます。ご意見あ
りがとうございます。おっしゃるとおり昨年11月にゴールドルートの
提案が観光庁からなされまして、外国人の方がたくさんこの松山においで
いただくことを期待をいたしております。そして外国人の旅行者の方が来
ていただくためには、おっしゃるように宿泊施設とか、さまざまな商業施
設などの充実は非常に大切な要素の1つだと考えています。ただ、その整
備は、宿泊施設とか商業施設は民間事業者の経営判断がどうしても必要に
なるかと思えます。主要な観光施設からの距離が大きなウエイトを占め
ると私ども伺っておりますので、そのあたりを考えるとなかなか難しい面
もあると思えますけれども、外国人の方にたくさんおいでいただくため
には、いろいろな対策が必要だと考えています。ですので、おっしゃるよ
うなボランティアのこと、それから掲示板のこともそうだと思います。その
ほかにもおもてなしの心を持ってさまざまなソフト対策を考えていく必
要があると思っています。私どもとしては、平成25年度に専門的な知識
を有する松山市にお住まいの外国人のウォルターさんといわれる方と外
国からお客様をお迎えするためのインバウンドアドバイザー契約を結ば
せていただいております。そうした方々のご意見を参考にしながら色んな
対策を考えていきたいと思えます。

【市長】 私から補足をさせていただきます。外国人の方ってやっぱり日本人
とは感覚が違いますね。日本人が考えているお客様に来ていただく方法と
外国人の方が外国人の方に来ていただく方法ってやっぱり違うなと思
いました。私たち日本人は「松山城というのは1603年に加藤嘉明が…」
とついつい言いたくなりますよね。いつどこで誰がどうしてどうなった。
そういう歴史的なものから言いそうになりますけども、外国の方はそのよ
うなものはあんまり関係ないそうです。誰が建てたとかいうよりも、建物
がどうか、どういう花が見られるとか、そっちのほうの方が先と教えてい
ただきました。やっぱり外国人の方は外国人の方にアドバイスをいただきな
がらと感じた次第です。結構、外国でも都会でもインフォメーションの「i」

と1文字だけ書いてインフォメーションセンターを設けているところがあるんですけども、うちは「i」だけ書いたインフォメーションセンターはまだまだ知られていない、うまくアピールできていないので、そのあたりを高めていきたいと思っています。おっしゃるとおり、外国人観光客を迎えるための視点はすごく大事だと思いますので、やっていきたいと思っています。私から先ほどの梅津寺の話の追加ですけれども、私は「たからみがき」のまちづくりをやっているんですけども、松山は東京や大阪ほど派手ではないですね。ですから、ずっと地方都市に住んでいると、「いやあ、わしの家には何にもないわい。わしのまちには何にもないわい」と言うんですけど、実はそんなことはなくて、松山には色んな宝がある。宝を正しい目で宝としてとらえて、磨いていくことが大事じゃないですかというので「たからみがき」のまちづくりをしています。梅津寺海岸のことで言い忘れたんですけど、飛行機の離発着と船の出入りも見られるのが梅津寺の特徴です。五感といいますけど、目で見てもきれいな砂浜ですよ、耳で波音を聞くと癒されますね、潮の香りってやっぱり旅感に誘われますね、食べてもおいしいですね、砂浜をさわると気持ちがいいですね。五感に訴える魅力があるのが瀬戸内海だし、きれいな梅津寺海岸だと思います。松山を元気にするにはどうしたらいいかばかり考えているんですけども、テレビを見ていてあったんですけど、横浜の八景島シーパラダイスに釣り堀があって、釣り堀で釣った魚を地元の方がさばいてくれて、フライドポテトならぬフライドフィッシュにしてタルタルソースをつけて食べると子どもたちにもものすごく人気があるそうです。そんな取り組みもできるなと思いました。梅津寺の海岸に、例えばあまり汚れないところに釣り堀を設けるとか、釣った魚をフライドフィッシュにするとか、そんな試みもできるんじゃないかなと思いました。ただ難しいのは八幡浜におさかな牧場シーロード八幡浜が釣り堀をやっていたんですけども、収支が合わなくなって釣り堀はやめてしまった。でも、外釣りは継続している状況もあるので、なかなか厳しいんだというのは現状としてあると思います。だから、公がやるのか、民間の方がやるのか、ダブルでやるのか、その辺をよく考えていかないと、「ごめんなさい。だめになりました。やめます」とはなかなかできにくいので、考えながらやっていきたいと思っています。

【男性】 高浜観光港ターミナルビルのすぐ北側のロータリーに太山寺高浜道の由来碑が建っているんです。これが平成17年の11月と碑の裏に書いているのを今日見てきたんですが、建てたときからですが、港湾施設占有料というお金を年間2,965円、高浜自治連合会が支払いしているそうです。公のものでもないのに、なぜそういう支払いをするのかと前か

ら疑問に思っていたんですが、建てたときの話では5年くらい経ったら無料になりますと聞いておったんですが、今だに毎年払っているそうです。太山寺に上がっていく遍路道ですが、今、四国中の遍路道を見直そうという運動も上がっておりますように、今年は非常にお遍路さんの多い年です。それと高浜の遍路道は山口県、広島、そして北九州の人のお遍路の表玄関だったんです。それから太山寺に上がって行って。先日、愛媛新聞にも書いておりましたが、太山寺は西の1番といいまして、太山寺から出発する方がかなり多かったらしいんです。あの句碑の占有料は、聞きますと松山市の港湾課が取っていると言っているんですが、無料にならないでしょうか。お願いします。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見いただきましてありがとうございます。私も来るときに見てきました。大変立派な碑が建っております。松山港は愛媛県が所管している港でございます、松山市が日常の維持管理を委託しております。料金の徴収などは松山市がさせていただいておりますけれども、句碑の許可とか占用料を決めたりするところは愛媛県でございますので、松山市から今日のご要望は愛媛県にお伝えしますけれども、地元からも愛媛県にご要望をいただけたらと思います。よろしくお願いします。

【男性】 私は高浜校区の保護司をやっております。よろしく申し上げます。先日、野志市長に「社会を明るくする会」に来ていただき、あいさつをいただきまして、出席者の中で長が来てくれたのが市長さんと松山市の議長さんぐらいのもので、東温市の市長さんとか警察署の署長さんあたりはみんな代理人だったということで非常に残念に思っておりますが、これから先もできたら市長さんに参加していただくと、次からはほかのところも各出先の長が来てくれるんじゃないかと思えますし、福祉関係も十分に力を入れていただきたいと思います。現在、ありがたいことにこの地区では問題になるような、私らが出ていく保護司関係の仕事はそんなに深刻なものは起こっておりません。穏やかな状態が続いております。梅津寺海岸の岸壁の落書きもきれいになりましたし、前回の市長さんのお話で落書きがいかに悪いものかといいますか、そういう話を聞かせていただいて、改めて周りを見回しております。特に子どもたちの環境、もちろん大人の環境も同じですけども、周囲を明るく見渡せる見通しのいい状態をつくっていくことを大事にしていきたいと思っております。それと今、梅津寺海岸の話が出ましたけども、実際に梅津寺の海岸を毎日黙々と掃除してくれている方がおられます。非常にありがたいことだと思います。先日、私もちょっとだけですけど県道の草むしりをやってみました。小さな雑草のこ

ろには、ほとんどごみとか堆積物はありませんけど、大きな雑草のところには弁当の残りかすとかタバコとか、結構大きな汚れたものが溜まっております。そこで市長さんをお願いしたいんですけども、子どもたちや人間弱者に関心を持っていただいて、将来は子どもたちは必ず大人になりますし、大人たちも必ず老人になっていきます。今後、特に皆さんに関心を持っていただきたいのは、今さっき言いましたように市長さんに参加していただくことによって、周囲の長の人たちも出て来て、関心が高くなっていくのではないかと考えております。お願いは、高齢者の犯罪、子どもの犯罪に対して松山市の立ち直りプロジェクトに、例えば市の委託職員は急には無理かもしれないですけど、臨時職員とか、第二機関・第三機関のようなどころで積極的に採用をお願いできたらと思います。

【市長】 更生保護のサポートについてになりますかね。

【男性】 将来が明るく見えるような構造をぜひ続けてやっていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【市長】 保護司は法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員になるんですけども、実質的には犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアになります。私の出席のことですが、私も重なっていて代理ということがありますので、できるだけ行きたいと思います。どうしても重なるときは代理という形になりますので、そのときはお許しをいただいたらと思います。今、松山市としても保護司会からの要請を受けてサポートセンターにふさわしい場所の提供ができるか検討を続けているところです。保護司とか更生保護女性会の皆さんと連携をしながら、不幸にして犯罪を起こされた方が立ち直り、社会に入っていくやすいように、また再犯することのないように努めていきたいと思います。

【小学生】 高浜小学校5年です。高浜小学校は自然が豊かなので自然を使って色んな取り組みをしたり、小・中学校合同の清掃があるので、小・中学生以外にも色んな人に参加してもらえたりする行事があればいいなと思っています。

【生涯学習政策課長】 教育委員会政策課の津田といいます。ご質問ありがとうございます。高浜地区では皆さんも参加されていると思いますけども、高浜公民館が中心になって、お年寄りからお子さんまでがいろいろと一緒に地域行事に参加できるような催し物をずっとやってくれています。また、分館活動も盛んだと聞いております。学校においても、先生方が地域の宝を探した冊子をつくって地域見学みたいな形で町歩きをされていると聞いておりますので、こうした事業を今後ともできる限り継続できるように、公民館の館長にもお願いしておきますのでよろしくお願いいたし

ます。ご質問ありがとうございました。

【男性】 最近、少子高齢化が言われております。子どものこともいろいろ言われていますが、子どもができるためには、まず若い人が結婚をしないと子どもはできません。私が言いたいのは、今、民間ではいろいろやっていますけど、行政からも婚活の活動をもう少しやってほしいと思います。具体的にいいますと、市役所の職員も若い方たくさんおいでますので、そういう方たちも含めて婚活を松山市でやってもらえたらと思います。よろしくをお願いします。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課長の西市でございます。ご質問ありがとうございます。今、ご質問の少子化対策の1つとして松山市が取り組んでいる事業のご紹介をさせていただいたらと思います。松山市では第6総合計画に「健やかで優しさのあるまち」を保健福祉部の基本目標に掲げておりまして、その中の施策の1つに「出会いからの環境整備」がございます。この事業は急速に進行する少子化に対する方策の1つとして、若者がパートナーを見つけやすい、家庭を築いて環境の整備を整えるための出会いの場を提供する事業でございます。具体的な内容は、来年度以降に実施できるようにただいま検討しておりますので、皆さんに広く「広報まつやま」とか色んな機会を得て啓発してまいりたいと思います。よろしくをお願いします。どうもありがとうございました。

【市長】 私どもも婚活はすごく大事なことだと感じています。私、経済学部なものですから経済の方向で切り取って考えることが多いんですけど、婚活って実は経済活動です。婚活って大事で、男だから男の視点で言いますと、好きな女の子ができると身なりも気をつけるようになるんです。髪もボサボサだったのが、髪型もちょっと考えようかなとか、服もちょっといいもの着てみようかなとか、お金が動きだすんです。散髪してみようかな、服を買ってみようかな。例えば女の子とお付き合いしたら、女の子の誕生日がきたらプレゼントを買ったりしますよね。女の子からも男の子にプレゼントを買ったりする。結婚する、結婚したら子どもが生まれる、子どもが生まれたらうれしいのはおじいちゃんやおばあちゃん、お孫さんに服を買ってあげたりする。出会いで結婚し、子どもが生まれると色々な形でお金が回っていくんです。婚活って実は経済活動の大事な1つです。松山市としても婚活、出会いはすごく大事なことだと思っていますので、色々な機関と連携しながら進めていきたいと思っています。15時半になりましたので、まとめの言葉とさせていただいたらと思うんですけども、前回も高浜からは活発なご意見を17個もいただきました。今回もそれと同じぐらいのご意見をいただけたと思います。冒頭にお伝えしたように、でき

ることからすぐに取り組んでまいりますし、できるだけ早く取り組んでいきたいと思えます。今日、宝として言うのを忘れていたんですけども、ターナー島も宝ですね。あの景色は本当に高浜の地元の方が頑張られてターナー島も宝になっていると思えます。また白石の鼻の巨石群も宝だと思えます。本当に高浜には宝がいっぱいあると思えます。これを皆さんと一緒に磨いていきたい。まちづくりって押しつけだと定着しないです。市役所からこれやってくださいとやると、押しつけになりますから、どちらかという上滑りしちゃうと思えます。草刈りの話がありましたけれども、皆さんが実際に動いていただく、地元を歩くだけで「あっ、こういうところいいな」とわかります。やっぱり、皆さんが動いていただくと地元で愛着や誇りを持つことができるので、皆さんにも動いていただいて、そして行政も一緒になって動いていくのが、いいまちづくりだと思いますので、これからもお力添えのほどよろしくお願いいたします。早速、今日いただいたご意見は庁内で検討させていただいて1カ月を目途に返答させていただきますので、よろしく申し上げます。これで終わりじゃなくて、また返答を見ていただいて、市役所からこういう回答が返ってきたけども、「私はこう思うんよ」というキャッチボールをこれからも続けていきたいと思えます。最後に、例えば今、松山市では地元で動いてくださったら「地域の宝みがきサポート事業」といいまして、上限30万円でお金を出す仕組みも新たに設けています。また色んなサポートする仕組みをつくっていますので、「こんなことしようと思っとんやけど、どんなかな。何かやりようあるか？」みたいな形で市役所に遠慮なく相談していただいたらと思えます。どうぞ市役所に対して敷居を高くなさらないで、やはり行政と皆さんの距離ができてしまうのはよくないこと、私は一市民からこの立場をいただいた人間ですので、とにかく行政と皆さんの距離を近くしていきたい、政治と皆さんの距離を近くしていきたいと思えますので、これからも遠慮なく市役所に声を寄せていただいたらと思えます。今日は長時間にわたりましてありがとうございました。また、これからもよろしく申し上げます。

— 了 —